

# 人にやさしく住みよいまちづくり 行財政改革にご理解ください

1 ページ

これからのまちづくりを考えるとき、過去をふりかえることが大切です。そして今を冷静に見ることもしていかなければなりません。「日の出町のこれまでと今、そしてこれから」を皆さんとご一緒に見つめ、考えていきたいと思えます。

日の出町ではこれまで長年にわたり、多くの事業を行ってきました。全国的な比較をしても他の同規模の町に引けを取らない、むしろ豊かな町だとみております。役場では常に支出に無駄はないか、適正に事務が行われているか点検をしながら町政運営を行ってきました。内部で節約できることは見直し、効率的な事務体制の検討もされてきております。これからもその姿勢は変わることなく、むしろ私は着任当初から折に触れて厳しく全職員に指示を出しているところです。

それでも「日の出のまちづくり」を大きく見直す時がまいりました。理由は二つあります。ひとつは、直面する社会全体の変化と国や都の新たな動きに対応したまちづくりが求められていることです。そしてもうひとつは、地域振興費が令和4年度から段階的に減少し、令和8年度には令和3年度比マイナス4億円となることがすでに決定しております。それにより歳入の枠組みが変わることから、将来あわてることがないように、町独自施策を含めすべての事業を見直すことにいたしました。これが行財政改革です。

行財政改革はあくまで手段であり、目的は住民の福祉の向上、皆さんの幸せな暮らしです。時勢に合わせて、行財政運営の形が変わることが見えてきたなら、いち早く軌道修正をしていくことは町長の責務であることは申すまでもありません。

町民皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和4年9月1日

日の出町長 田村みさ子